

来年度 橋本理取' 始進(土地)

橋本理取
土地
始進

広報 た か も り

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]

人 口

—10月31日現在—

9,016人 男 4,365人 女 4,651人

世帯数 2,599

転入 25 出生 9

転出 25 死亡 9



ハンゴ車で救出、高森中の避難訓練
生徒たちの防火意識を高めようと、十二月三日、高森中学校(青木不二夫校長、二百二十七人)で火災避難訓練が行われました。午後三時十分、一階湯沸かし室から出火したとの想定で校内放送があると生徒たちは運動場に避難、通報を受けた消防署のハンゴ車、タンク車、救急車と第五分団のポンプ積載車が到着し、屋上に取り残された生徒をハンゴ車で救出するとともに、放水が行われました。続いて生徒たちに正しい消火器の取り扱い方法が指導されました。

国鉄高森線を利用しましょう

第316号 昭和60年12月

お も な 内 容

- 新しいごみ処理場が完成.....(2)
- 年末・年始の交通事故防止運動.....(3)
- 口で描いた詩や水彩画.....(4)
- 高森幼稚園で幼年消防隊結成.....(5)
- 多彩な作品一堂に(第17回町文化祭).....(6)
- 商店を活性化させよう(商工業祭).....(7)
- みんなの広場、高森と甲斐一族.....(9)

火事・救急車は 119 へ	1月5日	1月3日	1月2日	1月1日	12月29日	12月22日	12月15日
富後	富後	富渡	富立	富南郷谷	富寺	富東	富馬
⑦藤	⑦辺	⑧野	⑧野	②崎	②崎	②原	②原
00医	17医	01病	01病	33整	03整	03整	03整
19院	77院	11院	11院	75科	37科	37科	37科

休日
在宅医
診療は午前9時から午後5時まで

町民文芸



肥後狂句

(阿蘇御神火会)

真ッ青 隣の芝は絵の如る
今 息絶え絶えのゴールイン
紅葉して 親にも隠すバスタオル
真ッ青 買わんドリンク飲うどらす
反抗期 親も苦しむ処方箋
真ッ青 焼いておくべきメモだった
今 勝訴の声も聞かんまま
真ッ青 税務署奴が四人来た
紅葉して 此処にアトリエ移し度ア

俳 句

打って見せ獅子舞太鼓子に打たせ
栗の実や針千本に守られて
霜深く牧牛の列里帰り
冬支度気にかかりつつ夫看取る
散る紅葉風の行方に逆はず
満天星の紅葉を偲ぶ庭があり
大根を干す棚低く作りけり
転げゆく落葉追ひかけ句座の道
木の実降る召されたる人想ふまじ
掃けば散り落葉にいとむ朝な夕
遠足のみやげは野菊一握り
木屋の匂いをめでつ番茶飲む

篠田 凡才
林 不忘
林田 一声
石田 詩朗
田上 黙公子
岡本 琴司
松野 笑声
馬原 馬笑
浦塚 南夫

野尻さだむ
熊谷起代女
野尻 誓道
草村 あつ代
草村 鶴代
馬原その女
甲斐 康利
熊谷 つ子
野尻 里女
森 正六
白石 政憲
阿部 タツエ

おめでた おくやみ

S60.10.1~10.31 受付

【出 生】	出生児	(性別)	(出生日)	(生 日)
赤羽根	本田 武昭	枝里加	女	S60. 9. 24
宮原	佐伯 実裕	佳 絵子	女	9. 25
下町	川口 裕	麻 子	女	10. 1
河原	後藤 満生	和 政太	男	10. 3
下上	小林 正	亮 太	男	10. 5
村山	栗屋 一稔	碧 一	女	10. 5
上在	荒牧 春代	祐 一郎	男	10. 5
村通	矢野 貴政	貴 央	女	10. 9
旭	高島 洋次	未 央	女	10. 18

【死 亡】						
(住所)	(遺 族)	(続柄)	(死亡者)	(年 齢)	(死 亡 日)	
昭 和	山田サエ子	夫	山田 起益	67	60. 10. 3	
森	後藤ツ子	夫	後藤 秀末	87	10. 4	
横 町	中山 昭男	母	中山 トミ	78	10. 7	
昭 和	村上サチ子	夫	村上九州男	67	10. 8	
百 刈	戸高 チエ	同居者	戸高 組男	78	10. 15	
山の口	松岡百合子	同居者	西島 要吉	89	10. 21	
馬 場	古庄ハツ子	夫	古庄今朝義	83	10. 20	
百 刈	濱原ケサジュ	夫	濱原 勝	64	10. 22	
黒 岩	森 金喜	母	森 タマ	87	10. 23	

【結 婚】	(氏 名)	(住 所)	(婚姻年月日)
(夫 田 上 豊 喜)	草 部 灰 原	S60.10.9	
(妻 松 本 克 己)	阿蘇郡蘇陽町		
(夫 松 中 川 博 秀)	高 森 上 在	10.26	
(妻 吉 村 秀 千)	上益城郡矢部町		
(夫 吉 村 秀 千)	飽託郡飽田町	10.14	
	片 口		

婚の荷の連なりて行く秋日中
収納終えし田んぼに小鳥群れて降り
二度三度鶉飛び立つ入日時
風音も力加わり冬近し
追い出され行く手決らず秋の蠅
置き去りの自転車倒れ秋の風

後藤やよい
森 政隆
後藤 チエ
後藤 法龍
本田 訓子
後藤 春嵐

(二) (寄) (付)

ありがとうございました

- ◎社会福祉協議会
△香典返し△
▽高森・昭和の村上サチ子さんから
(夫、九州男さん・67歳死去)
▽草部・山の口の松岡百合子さん
△一般寄付△
▽高森電報電話局と全電通高森分会から、電信電話記念日式典の記念品代を
▽高森・昭和の南郷谷整形外科医院から、開院祝の返礼にかえて
▽高森地区労から、劇団はぐるま座公演の収益金を

- ◎老人クラブ
▽永野原・小楠木の甲斐穂子さんから「明寿会」へ
▽高森・昭和の山田サエ子さんから「昭和会」へ
▽高森・横町の中山昭男さんから「清栄会」へ
▽草部・山の口の松岡百合子さんから「草部福寿会」へ
▽高森・昭和の草村照さん、瀬井浪夫さん、住吉昭泰さん、住吉文人さんから「昭和会」へ
▽高森・昭和の村上サチ子さんから「昭和会」へ
▽尾下・百刈の戸高秋男さんから「はまとこ会」へ
◎その他の寄付
▽老人クラブ「万年青会」から、高森中学校へ雑巾を多数



甲斐親宣が城主として居た岩神城趾

高森町電話帳の氏名欄に目を通
して見ると、甲斐姓が約百五十戸
名を連ねている。甲斐国、すなわ
ち山梨県にその源流が見られる甲

斐姓は、分布範囲も全国に及んで
いるようだが、高森町の甲斐姓も
その例外でないようだ。お互いに
同族であり、同根の出と見てよい

高森と甲斐一族

上色見・大村 本田 耕 亮



だろう。

では、この高森甲斐氏の一族は
いつの時代に、そしてどのような
ゆかりのもとに高森(旧山東部)
に定着したのか。

甲斐氏は元寇の異変に活躍した
菊池武房の子武本に出るとい
われ、その子武村が菊池の本家争い
を鎌倉の評定所で争い敗訴となり
以来甲斐の国津留郡に住み、その
子重村の時甲斐姓を名乗り、足利
尊氏に従って九州に入り、延元三
年(一三三八年)大友氏のもとで
菊池鞍岳の戦で菊池武重に破れ
た。そして日向の土持氏を頼って
落ちた。その後高千穂に土着し、
三田井氏の客分となっている。三
田井氏は当地区未開の地を甲斐氏
に開拓させたので、その領土は高
千穂一円に広がった。中でも甲斐
親宣は高千穂を代表する豪族であ
った。

この甲斐親宣が阿蘇家と切り離
せない存在として脚光を浴びたの
は当時、阿蘇大宮司として矢部浜
の館にいた阿蘇惟豊が、兄惟長に
追われて宮崎の鞍岡の山中に逃
れ、そしてこの甲斐親宣に頼った
ことに始まる。やがて永正十四年
甲斐親宣の力によって阿蘇惟豊は
再び矢部を奪回し、大宮司職を取
り返した。そしてその後、実力三
十五万石と言われた阿蘇家の隆昌
は、読者の知られるところであろ
う。当時の阿蘇家の活躍は甲斐親
宣、そしてその子親直(宗運)の

郵便貯金の際

本人の証明書が必要に

61年1月から

所得税法が改正され、六十一年
一月四日以降郵便貯金をする際、
預金者本人の証明書を示さなけれ
ばならないようになります。

◆証明書の種類

本人の証明書は、健康保険証、
共済組合員証、運転免許証、年金
手帳、戦傷病者手帳、身体障害者
手帳、児童扶養手当証書、特別児
童扶養手当証書、母子健康手帳、
住民票の写し、外国人登録証明書
などです。

◆通帳扱いの場合、証明書の提示
は一度だけ

十二月三十一日現在手持ちの通
帳を用いて、六十一年一月四日以
降最初に貯金する際も、本人の証
明書を示してください。以後その
通帳を用いて貯金するときは証明
書は必要ありません。

◆郵便貯金は別枠で三百万円まで
非課税

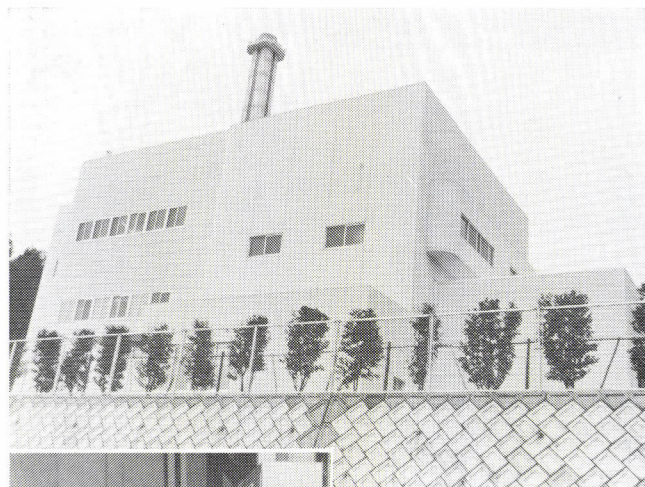
郵便貯金はマル優(限度額三百
万円)及び特別マル優(限度額三
百万円)とは別枠で三百万円まで
非課税です。詳しくは、郵便局で
お尋ねください。

援助によって存在したと言っても
過言ではない。これに対して惟豊
は譜代の重臣よりも甲斐父子に対
する行賞を重く見て、父親を草
部岩神城主(現在は宮崎県河内の
行政地区で、日向と熊本の県境に
位置する)として遇している。
岩神城主として親宣は後年(一
五三三年)阿蘇惟豊の命によって
玉名郡荒尾、小代の筒嶽城に菊池
武包を討つための岩神から挙兵さ
せたりしている。

時は下って天正十三年九月、薩

摩島津氏の肥後侵略に際し、甲斐
宗運の息甲斐右京亮重当は矢部よ
り遙々野尻城に退き、豊後大友氏
を頼ったが、天正十四年一月の島
津の大軍による攻撃で野尻城は落
ち、右京亮以下おもだった重臣は
ほとんど戦死している。
話は半分横道にそれたが、高森
甲斐一族はとにかくにも大なり小
なり誇りある戦国武将甲斐宗運一
族の命脈を伝え続ける家系には間
違いない。

新しいごみ処理場が完成



最新技術を導入したクリーンセンター



始動ボタンを押す瀬井町長

高森町外三カ村清掃組合(組合長・瀬井町
長、高森町、白水村、久木野村、長陽村)の新
しいごみ処理場「クリーンセンター」が完成、
落成式が十月三十日午前十時から同センターで
開かれました。式には関係者約百人が出席、神
事の後、「始動式」が行われ瀬井町長がごみピ
ットの開閉ボタンを押し、施設の完成を祝いま
した。

清掃組合のクリーンセンター

公害防止に最新技術導入

これまでの焼却場は四十五年に
建設されたもので、老朽化が進ん
だうえに、一日の処理能力十トを
オーバーするごみが運び込まれて
いたため、新しい施設の建設が急
がれていました。

完成した「クリーンセンター」
は上色見・下東西丁の三千百六十八
平方メートルの敷地に、地上三階、地下
一階延べ一千十平方メートルの処理工
場、七十九平方メートルの管理棟を建
設、一日に二十二トのごみを焼却
処分することができます。

搬入された可燃物はごみビット
という集積槽に集め、クレーンで
一定量ずつ焼却炉に運ばれ完全燃
焼されます。燃焼排ガスは水を
噴霧して温度を下げ、電気集じん

室で細かい粉じんを取り、きれい
なガスにして煙突から排出されま
す。
不燃物は、コンベヤーで破砕機
に送られ、細かく砕いて灰といっ
しょに埋立処分されますが、スチ
ール缶などの鉄分はコンベヤー上
で磁石選別され、資源の再利用と
減量化を図っています。

プラスチック容器 は可燃物です

ごみ収集についてお願い

住みよい環境づくりのために、
ごみ回収について次のことを守っ
てください。

収集、処理ができないもの

▽動物の死体及びふん尿
▽土石またはがれきなど(石、
土、砂、屋根瓦など)

▽爆発物などの危険物(スプレー

公害防止については、燃焼排ガ
スから粉じんを取り除く電気集
じん機をはじめ、場内汚水の再利用
装置、臭気を取り除く装置など最
新の技術を導入しています。
総工費五億二千八百八十万円、
うち三億五千五百四十万円は年金
積立金還元融資となっています。

街は穴をあけてください)

▽悪臭を出すもの及び有害物質
(農薬、廃ビニール、廃ブラ、
古タイヤ、タキロン、ボード板
など)

▽多量の水を含み、運搬及び処理
に支障があるもの

▽建物などの廃材で、長さ六十
センチ、幅三十センチを超えるもの

可燃物と不燃物は必ず分けて

▽空びん、空き缶や金物類は不燃物
として処理されます

▽プラスチック容器(洗剤、飲料
水、化粧品など)は可燃物とし
て処理されます

▽台所のごみは可燃物です。十分
に水切りをして、新聞紙などに
くるんで出してください

個人搬入は係の指示で

▽個人搬入は、午前八時三十分か
ら午後四時まで。ただし土、日
曜、祝祭日は搬入できません。
搬入の際は係の指示に従ってく
ださい

お知らせのページ

61年度県立農業
大学校学生募集

県立農業大学校では、61年度学生を次のとおり募集します。

○募集定員 ▽農学科二十五人
▽園芸学科四十五人 ▽畜産学科三十人

○応募資格 高校卒業者、または同等以上の学力を有する、満十八歳以上二十五歳未満の人で、将来県内で農業に従事しようとする人

○試験期日 ▽学科試験 六十一年二月十九日 ▽面接試験 六十一年二月二十日

○申込期日 六十一年一月二十日から一月三十一日まで

○問い合わせ先 県立農業大学校教務課(☎〇九六―二四八―一八八)

年賀状の投函は
20日ごろまでに

年賀郵便の受け付けは、十二月十五日から始まります。せっかくの年賀状も、おしまつて出されないと、元旦の配達に間に合わなくなります。なるべく二十日ごろまでにお出しください。

今月の支払日

今月の町の支払日は右のとおりで、支払時間は午前九時から、午後三時までです。

また、投函の際は「町内あて」「自県あて」「他府県あて」に区分して、束ねてお出しください。

工業統計調査に
ご協力ください

通商産業省では、工業統計調査及び石油等消費構造統計調査を毎年十二月三十一日現在で実施しています。調査の対象となる製造業を営む事業所には、年末年始にかけて調査員が伺います。調査の内容は、統計以外の目的に使われることは決してありませんので、ご協力をお願いします。

技能士通信訓練
の受講生を募集

荒尾技能開発センターでは、生産現場で働く技能者が、だれでも

いつでも、どこでも受講できる通信講座の受講生を募集しています。

【訓練科目】 ▽一級 機械加工科 仕上げ科、板金科、配管科、機械製図科、建築大工科 ▽二級 建築塗装科、建築科、ブロック建築科、左官科、木型科、家具木工科 など二十四科目

【受講資格】 実務経験があればだれでも受講できます(ただし、一級については、一級技能検定受検資格者、または一年後にその資格が得られる人)

【訓練期間】 標準一年(随時受付)

県民提案募集

テーマは間伐材の利用法

県では、県民参加の行政を促進するとともに行政効果の向上を図るため、次のとおり県民の創意による県政への建設的な提案を募集します。

◇テーマ 「間伐材の利用法」

県では間伐材の利用促進に力を注いでいます。間伐材の活用が進めば、林業経営を助け、緑化、国土保全、水源かん養に好影響を及ぼします。

木材共販市況

11月14日 市況		高森町森林組合	
スギ	ヒノキ	安値	高値
長さ 4 m	径 7~13cm	13,000	21,500
	14~22	18,500	23,500
	24~28	22,000	25,000
	30以上	26,600	—
3 m	7~12	10,700	16,000
	13~18	17,000	21,500
	20~28	21,000	24,000
2 m	7~14	5,500	10,600
	16~28	11,000	17,500
6 m	13~18	—	27,000
長さ 4 m	径 11~13	18,000	35,000
	14~22	32,000	39,000
3 m	13~18	30,000	38,000
6 m	13~18	48,000	55,000
	20~28	45,000	50,000

今回は間伐材を中心に弱含み、良質材は横ばいで開き、来春1月14日は「新春特別市」を開きますので多数の出荷をお願いします。

年末・年始の交通事故防止運動

無事故で明るい正月を

増加する飲酒・暴走

年末のあわただしさは、一年の締めくくりを感じさせます。ドライバーにとっては、そのあわただしさが、安全運転になくはならない「ゆとり」を奪い、ついスピードを出し過ぎてしまうようです。また、年末は忘年会などで酒を飲む機会も多くなり、これに伴ってぐっと増えるのが交通事故です。

十一月十七日現在の県下の交通事故は、九千三百四十一件発生し、死者百九人、負傷者一万五千五百人で、昨年同期に比べると件数死傷者とも増加。特に二輪車を中心とした若者の暴走行為などによる事故の死者が五十二人にもなっています。

十二月一日から、来年一月十日まで、年末年始の交通事故防止運動が行われています。この運動は、年末年始特有の飲酒運転、暴走運転などによる重大事故の多発が予想されるため、交通安全思想の普及徹底と、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより交通事故の防止を図るものです。

運動の重点目標は

○飲酒、暴走など無謀運転の追放
○子供と老人の交通事故防止
○シートベルト、ヘルメット着用の徹底
○夕方の車両の早目点灯の推進となっています。
ドライバーの皆さんは、特に次のことを守ってください。

一般事務は休みます

12月29日～1月3日

今年もあと一月を残すだけとなりました。年末年始の役場の仕事は、窓口などの一般事務は二十八日の午前中で終了、新春三日まで休みます。ただし、一部の窓口事務のほか、ゴミ・し尿収集は次のとおりとなっています。

窓口・一般事務

窓口事務など一般の事務は、本庁、出張所とも十二月二十九日から一月三日まで休ませていただきます。その間、証明書などの発行ができませんので、必要な方は早目に手続きを済ませてください。

夕暮れ時には
早めにライトを

○二輪車は昼間点灯を、四輪車も夕暮れ時は早目にライトをつける。
○「ゆとり」と「ゆずりあい」の運転を励行する。
○忘年会、新年会など酒の出る会合には車を運転して行かない。
○酒を飲んだら絶対に車の運転をしない。

例年十一月から一月までの期間は、日没時間と勤め帰りや下校時には、早めにライトをつける。

なお、出生届、死亡届、婚姻届など戸籍の届け出に限り、休み中も当直者が受け付けます。出張所は当直がいまないので、本庁に届け出をしてください。

ゴミの収集

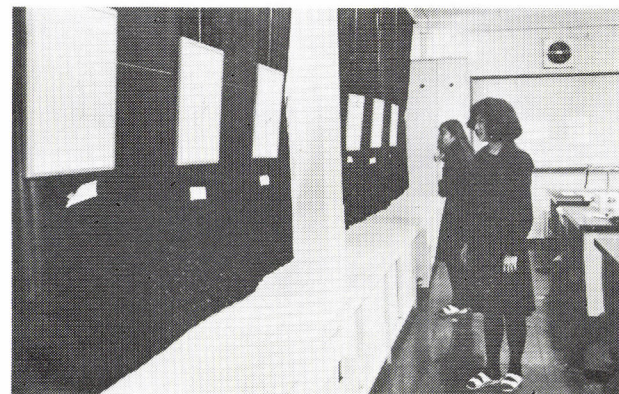
年内のゴミ収集は三十一日まで平常通りの日程で行います。一月一日から三日まで休み、四日から平常通り収集を行います。各地区の日程は次のとおりです。
▽草部南部地区 一月一日、二日、五日、六日、一月十五日、十六日、一月二十日、二十一日

し尿収集

▽高森・色見地区 十二月二十三日までの受け付け分を、十二月二十八日午前中まで収集。来年は一月七日から収集。
▽その他の地区 十二月十八日までの受け付け分を、十二月二十日まで収集。来年は一月十日から収集。
▽草部北部地区 一月三日が一月七日に、一月十七日が一月二十二日に
▽野尻南部地区 一月四日、五日が一月八日、九日に、一月十八日、十九日が一月二十三日、二十四日に
▽野尻北部地区 一月六日が一月十日に、一月二十日が一月二十五日に

口で描いた詩や水彩画

本町出身の三森孝志さん
母校高森高校で作品展



作品に見入る高森高校生

見出したのは五十六年春、同じ境遇の人が絵を描いていることを知ってからです。以来、付き添いの看護婦らの助けを借りて、口に筆をくわえ、絵や詩の創作を続けています。

十一月六、七の両日開かれた高森高校の文化祭には「三森孝志絵画展」として詩、花の水彩画など二十点余りが展示され、創作風景

志気高揚の起爆剤に

高森高校 三十年ぶり野球部復活

高森高校（後藤良勝校長、三百六人）に、来年四月から硬式野球部が三十年ぶりに復活することになりました。

同校では四十六年を境に生徒数が減り続け、十五学級から九学級になっていきます。この沈滞ムードを打ち破り、志気高揚の起爆剤になってほしいとの願いを込めて野

を写したビデオも上映されました。

サクラ、ヒメユリ、アザミなどが生き生きと描かれている作品を見入っていた生徒たちは感銘を受けた様子で、会場に準備された用紙に「希望を持ってがんばってください」「感動しました」「生きる尊さを改めて感じました」などの激励文を書いていました。



第二グラウンドの建設予定地

球部の復活となったもので、このほど同窓生、父母、地域代表による後援会（村上明徳会長）も発足、部員の勧誘、資金の確保など積極的な活動をすることにしています。

計画では、同校寄宿舎西側の約一万四千平方メートルの用地に六十二年二月までに第二グラウンドを県費で建設、広さは両翼九十三メートル、センター百二十二メートル、藤崎台球場規模になる予定です。

同校は二十四年の創立、硬式野球部は二十五年に発足しましたが、経費難などで三十年に解散しています。

後藤校長は「四国の池田か、九州の高森かと言われる目を夢見て努力していきたい」と語っています。

なお、町民や中学校からの要望が強い弓道部の創設についても、実現に向けて検討を重ねています。

国鉄 フルムーン夫婦 グリーンパス発売

二人で行く、日本全国グリーン車B寝台車の旅―国鉄ではフルムーン夫婦グリーンパスを発売しています。

○年齢合計が八十八歳以上の夫婦が対象です。
○料金は二人で五日間六万五千円、七日間八万円、十二日間十万

台所や風呂などから出る生活排水が川や湖を汚している、とい

っても使えます。古くなった油をそのまま流しに捨てないように油を流しにそのまま捨てると水を汚すことはもとより、パイプ詰まりの原因にもなります。

ると、植木や花などの肥料としても使えます。古くなった油をそのまま流しに捨てないように油を流しにそのまま捨てると水を汚すことはもとより、パイプ詰まりの原因にもなります。

浴室・洗濯

風呂の残り湯はいききに抜かないようにしよう

日本の下水道の普及率は約三〇割。残り七〇割の排水は、そのほとんどが家庭から流れ出たきたないままの状態、川や湖に注がれています。

河川など流れのある水には、自浄効果といって、多少の水の汚れはきれいにする力があります。しかし、何百世帯、何千世帯分の汚れた水が大量に流れ込んだのでは、自浄効果も期待できなくなってしまう。

そこで各家庭で生活排水を出す時は、どんなことに注意したらよいかを考えてみましょう。

台所

食べ物の残りカスや調理くずなどは、なるべく流さないように水と一緒に残りカスなどが流れないよう、ストレーナー（流しについているこし器）は、できるだけ目の細かいものを利用しましょう。

調理くずや食べ残しなどは、生ゴミとして出すようにしましょう。また、生ゴミは土に埋め

河川が汚れています

家庭でできる生活排水対策

などに吸い込ませたりしてゴミとして捨てましょう。

台所用洗剤の使いすぎに注意を台所用の洗剤は、普通、水一鉢に対して茶さじ一杯（〇・一五割）が標準使用量です。つまりほんのちよつとの量で十分汚れを落とすことができるので

商店を活性化させよう

第1回商工業祭開く

高森町商工会青年部（吉良嘉人部長）主催の商工業祭が十一月十七日、横町通りと肥後銀行通りを歩行者天国にして開かれました。

同青年部が、消費者への感謝と商店街の活性化を目的に企画したもので今年が初めて。午前十時からの開会式では、吉良部長が「感謝を込めて良い品を安く提供してほしい」とあいさ

つ、続いて来賓の瀬井町長、山村議長が「町の発展、商店街の発展につながる有意義な催しです」と述べました。

通りには、たこ焼きやわた菓子などのバザー、自動車展示場、住宅機器展示場など三十五店が並び家族づれなどの人出でにぎわいました。

また、中央に設けられた舞台では舞踊、民謡、バンド演奏が終日披露され、雰囲気盛り上げました。



人気を呼んだ車のたたきこわし



火遊びはしません

高森幼稚園 幼年消防隊を結成

高森幼稚園 (後藤サチ子園長、百十七人) で十一月十二日、幼年消防隊の結成式が行われ、瀬井町長、塚本消防団長、阿蘇広域消防組合、父母ら約百七十人が出席しました。

消防の仕事に対する理解を深め、防火思想の普及を図ることを目的に結成されたもので、ときおり小雨が降る中、年中、年長組の隊員八十八人がそろいの法被姿でグラウンドに整列しました。

まず、新しい隊旗が瀬井町長から隊員代表に贈られ、全員が元気な声で「僕も私も火遊びはしません」と誓いの言葉を唱和しました。園長あいさつ、来賓祝辞の後上村裕哉ちゃん(六)の指揮で通常

点検を受けましたが、大人顔負けの立派な動作に出席者は感心していました。

この日は、耕運機を改造した消防署のミニ消防車二台も登場、園児たちは順番に乗ってグラウンドを一周し大喜びでした。続いて消防署員による、二十五両ハシゴ車からの降下訓練、放水も披露されました。最後に「火遊びはしません」と書かれた短冊をつけた風船百個が園児たちの手で飛ばされました。同園の幼年消防隊は郡内で三番目の結成。写真がグラウンドに整列した隊員

石油ストーブの取り扱い

正しく、安全に

石油ストーブは手軽に暖をとれる反面、取り扱いを間違えると恐ろしい火事のもとに「変身」します。日ごろの取り扱いには、次の点に十分気をつけてください。

■給油するときの注意

▼必ず火を消してください。火をつけたまま給油し、万一こぼれ

ると、石油ストーブが高温になっているためこぼれた灯油に着火する危険があります。

また、給油中はその場を離れないようにしてください。

▼給油中にこぼれた灯油は、よくふきとってください。

▼ストーブには灯油を使用して

■置き場所や周囲の状況

▼カーテンなど燃えやすいもののそばにストーブを置かないようにしてください。また、ストーブの上で洗濯物を干すのは危険ですからやめましょう。

▼ストーブを移動させる場合

ください。間違えてガソリンなどを使用すると火事のもとになりま

■その他の注意事項

▼最近の石油ストーブには、安全装置がついています。故障していないかどうか確かめましょう。故障していた場合は販売店に修理を依頼してください。また、なるべく耐震自動消火装置付きのストーブを使用してください。

▼使用する前には説明書をよく読み、器具の特性に合った使用をしてください。

タコあげは電線の
のないところで

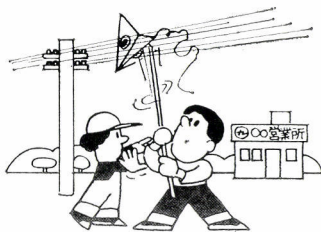
タコあげのシーズンです。お父さん、お母さんへお願い。

電線の近くでは、タコあげを絶対にしないよう、お子さんに注意してください。毎年九州では約二千個ものタコが電線にひっかかっています。もしタコが電線にかかったら、危険ですから自分ですら、九州電力高森営業所(☎二一〇〇三七)へご連絡ください。

●電柱にのぼってとるのはやめましょう。

●電線を竹ざおでつづくのは大変危険です。

●そのために停電して、近所のみなさんに大変迷惑をかけることになります。





自慢の作品が展示された場内

では絵画、書道、写真、手芸、俳句、狂句、生け花、盆栽、熊日ちびっこスケッチ展の入賞作品、文化財(古書画)のほか、本町出身の自衛官、三森孝志さんの作品、高森寮、梅香苑の入所者が作った手芸品など多彩な作品が展示され、二日間に約千五百人が訪れにぎわいました。和室では茶会も開かれました。

また、高森校区婦人会は、農産物の即売と郷土料理「だご汁」の実演を行ない、家族づれになかなかの人気でした。二日目の午後には、有志から寄せられた色紙、写真、盆栽などを賞品にした抽選会が行われました。

今年、高森校区婦人会(松野博子会長)の体力テストが、十月二十七日午前九時から高森小学校体育館で行われました。テストの結果で自分の体力を知るとともに、スポーツを選ぶ参考にしてもらおうと、町教育委員会の主催で、毎年町内四会場で開いて

多彩な作品一堂に

第17回 高森町文化祭

だご汁の実演も人気

第十七回
高森町文化祭(町、町教育委員会、町文化協会共催)が十一月二日、三日の両日、商工会館で開かれました。

あなたの体力年齢は

高森校区
婦人会が スポーツテスト

高森校区婦人会(松野博子会長)の体力テストが、十月二十七日午前九時から高森小学校体育館で行われました。テストの結果で自分の体力を知るとともに、スポーツを選ぶ参考にしてもらおうと、町教育委員会の主催で、毎年町内四会場で開いて

準備運動の後、体育協会の指導を受けながら、反復横とび、垂直とび、左右の握力、体の軟かさを測る立体前屈、目を閉じての片

熱演・手作り音楽祭

邦楽・洋楽に二百人が出演

「手作りの音楽祭」として町民の間に定着した「第九回高森町民音楽祭」(町文化協会主催)が、十一月二日午後六時から高森小学校体育館で開かれ、約五百人の聴衆はたつぷりと音楽を満喫しました。

町内の音楽愛好家が、企画、運営、出演する音楽祭で、幼稚園児からお年寄りまで約二百人が熱演ジャンルもコーラス、民謡、詩吟、ピアノ独奏、バンド演奏と多分野にわたっています。

今年、高森校区婦人会(松野博子会長)の体力テストが、十月二十七日午前九時から高森小学校体育館で行われました。

今年、高森校区婦人会(松野博子会長)の体力テストが、十月二十七日午前九時から高森小学校体育館で行われました。

足立ち、バスケットボールを使ってジグザグコースを回るテスト六種目を行いました。全種目が終わった後、自分の測定結果と年齢ごとの標準値を比較しましたが、年齢より若いと喜ぶ人、運動不足を反省する人とさまざま。昼食後は



垂直とびを測定する参加者

高森保育園児のコーラス

